

令和2年12月10日

# 南の風 For Junior23

南部地区ミニバスケットボール連盟

会長 藤原 敬一

ピック&ロールで攻める時に、ピックに係わらない3人の合わせです。

ピック&ロールを仕掛ける場所と5人の位置を書きます。図に描きながら進めると分かりやすいです。

始める位置は、リングに向かって左サイド（フリースローラインをサイドライン方向に伸ばす仮想線と3Pラインが交わる内側辺り）とします。

アライメント（オフェンスの配置）は、左サイドのウイングがボールを持ちます。トップに1人、右サイドのウイングに1人、右のコーナーに1人、そして左のショートコーナーに1人という布陣とします。

左のショートコーナーの選手が、ミドルライン（リングとリングを結んだ仮想線）側からボールマン（ユーザー）のディフェンスにピックに行きます。この時トップの選手は、自分についているディフェンスがヘルプに行けないようにアウェーカット（ボールから遠ざかる）の動きをします。

ユーザーがピックを使ってドライブしたとします。

スクリナーはやや膨らみながら（バナナカット）ダイブします。右コーナーにいた選手は、サイドラインに沿いながら右サイドの選手のディフェンスにバックピックします。その後セーフティーとなって上がります。右サイドの選手はピックを利用して右コーナーに移動します。アウェーカットしたトップの選手はユーザーのドライブを確認したら、ドラッグ（ユーザーが元いた場所に移動）して合わせます。

ユーザーのドライブからダイブしたスクリナーにボールが入らなければ、ダイブしたスクリナーは反転してスペースを開けるように左コーナーにカットします。

ここからは応用となります。相手ディフェンスの状況によって攻め方が変わります。

ユーザーがリジェクト（ピックを利用せずに逆側にドライブする）したとします。

この場合スクリナーは、ダイブせず（スペースを取るため）にポップ（ユーザーが元いた位置に上がる）して、ドラッグするように合わせます。トップの選手はセーフティーになります。右コーナーの選手は右エルボーに上がります。右サイドの選手はコーナーダウンして合わせます。

リジェクトからのドライブが成功しなかった場合は、ヘルプディフェンスの状況によってアウトナンバーの攻め、あるいはドラッグした選手への合わせやスキップパスからの合わせになります。

いずれにしてもピック&ロールがおこなわれたら、他の3人は邪魔にならないようにスペースを取るようして合わせます。相手ディフェンスにヘルプさせないためです。ですからピックに行く選手は味方に「ピックに行くよ」ということをシグナルで知らせます。（手を上げる）特にU15カテゴリーでは徹底することが大事です。そのシグナルからピック&ロールの利用の仕方によって、ピックプレーに係わらない3人の動きが決まってくるのです。

ピック&ロールプレーに係わらない、3人の合わせの一例を紹介しました。

まとめになります。繰り返しますが、ピック&ロールは意図的にノーマークをつくるという、合理的な攻めです。相手ディフェンスがヘルプに回れば、他の3人は**ピック&ロールは「2人に任せればいいや」ではなく、ヘルプによってできるアウトナンバーを利用して協力して攻めることが必要です。**